権文化のいきづくまち」を目指

、権週間に伴う様々な活動をおこないまし

2023 (令和5) 年12月4日~10日

(一面)

目 次

・第75回人権週間特集 街頭啓発活動•武庫地区人権問題講演会 各種団体別合同研修会を開催しました。

事務局 第1回12月12日 第2回2月13日

視点 「ありがとうをみつけよう」

前半は、南武庫之社の一大の社の一大の社会」「手話をもっと身近に」とをもっと身近に」とをもっと身近に」と

統合されまた

(参加者42

尼崎市立武庫南小学校 校長 大龍 正幸

(二面)

・大きな安心につながります。様々な行動があります。

尼崎市立武庫小学校 校長 河合 康一 ・武庫会の活動紹介 武庫地域振興センター 所長 木崎 貴則 ・子どもたちに夢を!挑戦を!!『チャレンジャーズ』のアメフト教室

尼崎市立武庫の里小学校

「県立こばと聴覚特別支援学校から、について」で、南武庫之荘中学校と兵演題は「地域共生社会と聴覚障が

学校での取り

されました。 後半は、兵庫県立こばと聴覚特別支援学校について、学校長の平野明支援学校について、学校長の平野明支援学校について、どのように取り組まれているかなど、また難聴や補助器について、聴覚障がいのあるこども(幼児)が言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、人間関係をが言語を理解・習得し、とのよりに、どのよりに、というには、 をお、兵庫県立こばと聴覚特別をおらは県立むこがわ特別支援学校に、2026(令和8)年度

などについて紹介が学校での取り組

ありました。

事務局

(火) 武庫西生涯学習プラザ12023(令和5)年12月12種団体別合同研修会(第1回)種団体別合同研修会(第1回)

1 12 階日

各

クや学校での取り組みが紹介



武庫地区人権啓発推進委員会

尼崎市南武庫之荘 11 丁目 6 番 15 号 尼崎市立地域総合センター南武庫之荘

電話・FAX 06-6438-5875

2023(令和5)年は1948 (昭和32)年国連総会での世界人権 宣言採択から75周年になります。世 する12月4日から10日までの人権週 間には、毎年、全国各地で啓発活動 が展開されています。武庫地区でも が展開されています。武庫地区でも が展開されています。世 「人権文化のいきづくまち」を目指 ました。
して、啓発活動を次のとおり実施して、啓発活動を次のとおり実施して、

◆街頭啓発活動(人権啓発チラシ・ ・日程 12月1日(金) ・日程 12月1日(金)

頭活動に先立ち、 11月17日(金

 $\dot{\exists}$ 金

月

武庫地区人権啓発推進委員会

各種団体別合同研修会

(第

1

回•第2回)

を開催

◆人権啓発パネルの展示、のぼり・

びました。

た。作業終了後、 た。作業終了後、 を鑑賞し、あから 『言葉があるから』 でまな差別表現で なくても、無自覚 なくても、無自覚 シ・グッズのなに人権啓発

ション」について学 マイクロアグレッ

袋語 ・日程り 日程・1

女性センター・トレピェザ、武庫東生涯学習プラザ、・場所(武庫西生涯学習プラ

1 (金) 11月2日 (月) 1 (金) 月 5

女性センター・トレピエザ、武庫東生涯学習プラザ、場所 武庫西生涯学習プラ

・日程 12月4日(月)・日程 12月4日(月)・場所 武庫西生涯学習プラザ3・講師 葛西 リサ さん(追手門学院大学 地域創造学部 准門学院大学 地域創造学部 准教授)・演題 子どもの居住の貧困とは何かについて

い 住定は、

を指します。住居費負担、居住の不安は、居住の不安

向け、日々、教育活動に取り組 間づくりをめざして」の実現に

テーマ「認め合い、助け合う仲

庫南小学校では、

んでいます。

ここ数年の取り組みとして、

活や就労、また福祉などの行政をなるもので、となるもので、となるもので、となるもので、となるとのもので、はなどの基盤

「ありがとうを

みつけよう」

なるもので、 「住宅」は生 ではまたの基盤

12 月

家率の高さ)、重い住居費負担、居住環境の劣悪さなどを指します。 住環境の劣悪さなどを指します。 「持家」の前提が雇用の不安定や貧困などによって近年崩れつつあり、 ひとり親(母子)家庭が居住の貧困に陥っているそうです。 そうした居住の貧困の解決策として、空き家の増加などを背景とした民間による居住支援、例としてと民間による居住支援、例として、空き家の増加などを背景とした民間による居住支援、例として、空き家の増加などを背景とした民間による居住支援、例として、空き家の増加などを背景として、ついて学ぶ機会となり、大変貴重について学ぶ機会となり、大変貴重について学ぶ機会となり、大変貴重について学ぶ機会となり、大変貴重などのおいました。

も行いました。

したが、今年度は教職員間で

は子どもたちのみで行っていま

この取り組みは、前年度まで

周りの人たちに感謝の言葉を 中心となりスマイルカードで よう」にちなみ、生活委員会が 生活目標「ありがとうをみつけ

伝える活動をしています。

(参加者53人)

(事務局)

。)についてお話しいただき、)について、さらに人権との判知症の人と共生する上での題(能力の過小評価、自由題(能力の過小評価、自由)のいて、さらに人権との関め、高齢者が直面している倫理(人がなすべき行為の判別(人がなすべき行為の関い説明がありました。

〜 授 接いる」と で・高見美保さんをお招きし、 「『認知症と地域社会づくり』について で講演していただきました。支援やきました。支援や 理解があれば、住 み慣れた地域で生 るそうです。 講演ではまず、前 提の知識として、認 ができることができるそうです。 武庫西生涯学習プラザ14 (令和6)年2月13 階日 各

トする「わくわく喜貴来プロジェクの高齢者を大学生との交流でサポーつこと)」で、実践事例として地域れ身体・情緒・能力の健やかさを持れ身体・情緒・能力の健やかさを持たがな地域づくりの枠組みは、魅力的な地域づくりの枠組みは また認知症の人の立思生活について、さらに生活について、さらに生活について、さらに生活について、さらに、疾から、高齢者が直面、の制限、ニーズの見過がの制限、ニーズの見過がの制限、ニーズの見過がいいであるとり歩きや、認知症の人と共生に、一、大レス(不安・孤独感、中核症がいために重要になど)が加わることがあると指摘されました。 ト」が紹介されました。トする「わくわく喜貴来の高齢者を大学生とのな

参加者60人) (事務局)

顔になり、職場も和やかな雰れ、褒めてもらえると自然と笑ていることが周りから評価さ日頃、当たり前のように行っ 囲気となりました。

答を得ることができました。95%の保護者から肯定的な回がいると言っている」の項目で ケートでは、「子どもは友だち 今年度の学校づくりアン

り組んできた「仲間を大切にり組み以外にも本校が長年取これは、スマイルカードの取 する」人権教育が身を結びつつ

子どもたちが通っている学

ある成果だと思います。

る学校を目指し、チーム武庫校、地域の皆様から信頼されろうとする気持ちに満ちた学 ちは、多様性を学び、自他共に えます。その学校で、子どもた 校は、社会の縮図だと私は考 大切にし自尊感情を高め、「生 今後も、子どもたちが頑張

正幸

きる力」を育んでいきます。 南で教育活動に取り組んでま いります。

校長 大龍 一尼崎市立武庫南小学校

级

武庫会の活動紹介

付を実施し、団体に対して

コロナ禍が一定の落

玄関口である武庫之荘駅前の南側

街づくり分野では、

武

庫地区の

活動を支援する寄

体に対して、

堂や居場所を実施運営されている具体的には、子どものための食

ます。

支援を継続しようと考えてい を肌身に感

ろです

区となるよう取り組んでいるとこど、住民がより住みやすい武庫地に関して尼崎市に要望を出すな

l事業や講演会の支援、街づくりよりよい武庫地区を目指し、慈

きして、子 んからお聞

どもの居場

所の必要性

を、 運営団

大きな安心につながります。様々な行動があります。

特別支援教育についての理解前述の神戸市の例は、「(

6

• 啓

(6)特別支援教育についての理

発」に当たるでしょう。

のない出来事への対処がわ

神戸市のポスターには、

「経験

「子どもたり

ちに夢を!挑戦を!!

武庫の里小学校

武庫地区で頑張る団体紹介

から

『チャレンジャーズ』のアメフト教室」

アメリカンフットボールチーム・「SEKISUI チャ

は、子育てをはじめとする様々な

思われますか? も)大変やなぁ」 るとします。 電車の中で赤ちゃんが泣 「うるさいなぁ」と それとも「(親 と思われ ま す

望を受けた神戸市は、知的障がいをしてもらえたら」との父親の要解と同じように、知ることで配慮の。高齢者や身体障がい者への理 ユーチューブに投稿されていまし惑行為」というタイトルが付いて や自閉症の人たちの行動を理解し ユーチューブに削除依頼を出し た。それを見たその男性の父親が の様子が、「市営地下鉄内での迷し同じ言葉を叫んでいました。そ電車の中で30代の男性が繰り返 日後に動画は削除されました。 「知的障がいについて知らなけ 奇異に思う人もいると思 啓発ポスター

> などに配るようになりました。 って市内の公共交通機関や

思い出したそうです。「どうして囲に必死に謝り続ける母親の姿をが子が電車内で声を出していて周要望を聞いた時、障がいのある我 り、 いのか」という韋田繋ぎ、こんなに謝り続けなければいけな れば」との思いでポスターを制作 したそうです。 担当した市の職員の方は父親 「保護者も心が少しでも休ま

加に向け、一人ひとりの教育的必要な子どもたちの自立と社会参念)の概要は、「すべての支援の策定しています。その方針(理 て、基本方針(あまっ子方針)を尼崎市では特別支援教育に関し 重し支えあう共生社会の担 ニーズに応じた指導支援を行うと ともに、誰もが多様性を理解し尊 い手と

> 障がいからくる様々な行動があります なる子ど

あなたの見守りが支えになります

における支援体制の整備と充実(1)就学前・小・中・高等学校 (2) 早期からの相談支援と個に

応じた適切な就学相談の推進 (縦と横の連携) 学校園間および関係機関の

3

門性の向上とセンター的機能の(4)あまよう特別支援学校の

(5) 教職員の専門性の向上

おす」と 標を掲げ の重点目 育成を目 もたちの して6つ です。そ 声を出したり、自分を落ち着かせず、緊張や不安を解消するため、 などの説明文を添えて理解を求め る行動をとることがあります。

す。 てい ま

神戸市営地下鉄車両内のポスタ

地区であってほ 市であり、武庫す。そんな尼崎 しいですね 地区であって

教育の根幹でことが特別支援 重し支えあう」 様性を理解し尊 うに「誰もが多 方針にもあるよ 尼崎市の基本

尼崎市立武庫小学校 校長 河合

充 専

康

東川周辺阪急新駅の整備に関して は地域住民の意見を十分に取り入 いった要望を市に届けるなど、武 いった要望を市に届けるなど、武 を進めてもらいたいと より高まるように要望し、仮称武 動車・バスを含めた交通安全が における人の往来や、 みやすく、 の交流を活発にしながら、

センターが事務局を担っていま在住の会員を擁し、武庫地域振興(令和5年5月現在)の武庫地区

を目的とする団体で、

武庫会は、

会員相互の親睦を図ること伝会は、武庫地区の繁栄に寄

せる中、

えばな

域の子ども 動状況や地

たちの集う

市民に発信する事業として、市内なっており、あまがさきの魅力を で構成する六星会の当番地区に今年度、尼崎市内6つの地区会 で伝わっているお話を小冊子にま

トーマとした講演会を実施させての学芸員を招いて、尼崎の伝説をし」を発行し、11月に歴史博物館とせた「あまかさきつたえばな

き、事業目的を達成できたものとながった。」などの声をいただ たわる昔話や伝説を聞けてよかっ参加者の方からは、「地域でつ 聞けて、より深い理解と愛着につ た。」「歴史的史実も交えた話を 考えています。)交流を活発にしながら、より住こうした取り組みを重ね、会員

高めていく活動を続けていきま 地域を愛する気持ちを

ラザ等にて配布しています。 武庫地域振興センター 武庫東・西生涯学習プ」「あまがさきつたえば 所長 木崎 貴則

ムは今年

般社

武庫

教室を開

選手が所属して せて行っています。 講話やキャリア講話もあわ 生かして、ダイバーシティ める社会人選手や、 ています。また、 に親しむ機会づくりを行っ 子どもたちがスポー いることを 、外国人企業に勤 ッツ

ません。

未来を予感せずにはいら

いただきました。

と思ったときに、僕たちのら夢を見つけ、挑戦したいさんは言います。「これかなれたら。」副代表の川口なれた」と思えるきっかけに 分にもこんなことができる ポーツ。子どもたちが『自 姿を思い出してもらえるよ らず、誰もが活躍できるス うな存在になり 「アメフトは見かけによ ()



を行っています。

校で月に一度

今年度は、武庫

四副代表 地路の出しました。「今回、学 を育友会など、多くの方 がや育友会など、多くの方 語る川口さん。その熱い眼 た。今後は地域の方々とも められ、手応えがありましに協力をいただきながら進 差しの先に、地域の明る 上げていければ。」と笑顔で 緒に、まちぐるみで盛り

武庫の里小学校 育友会

め

の

令和5年度 武庫しののめ

保 元 万喜子 阪 上 敏 郎

編集委員(敬称略)

矢 野 千佳子 大 龍 正 幸

分野で地域に根差した取組を行っています。

レンジャーズ」

中山正裕 籔 田 政 和 中 野 鮎 美 奥 田 智 三 澤 毛登山 一郎 雅 俊